

# 平成26年度全国高体連自転車競技専門部

## 第106回全国専門委員長会 次第

期 日 平成27年2月14日(土)13時～15日(日)12時  
会 場 学校法人成城学校 成城高等学校 会議室

### 次 第

- 1 司会進行 田中
  - 2 出席者 出席 42 名 欠席委任状 5 名
  - 3 部長挨拶 大館 健司 議事録署名人 山口県 小倉英治
  - 4 議長選出 第26条3項により部長が担当
  - 5 審議事項
    - (1) 平成26年度事業報告(案)について (事務局)  
別紙資料 → 承認
    - (2) 平成26年度収支中間決算(案)について (事務局)  
別紙資料 → 承認
    - (3) 平成27年度事業計画(案)について (事務局)  
別紙資料 → 承認
    - (5) 総務部会提案事項について (総務部会)  
別紙資料
      - ① 海外遠征費でアジア選手権に激励金を出してはどうか。
      - ② HP 維持費をアップしてはどうか。
      - ③ 各県からの賛助金も引きつづきお願いしてはどうか。
      - ④ 繰越金はあまり多くしない。 →承認
    - (5) 総務部会提案事項について (別紙資料) (総務部会)  
議題① IH種目ケイリン参加制限について
      - ・ケイリン参加総数を56名(H27大阪より)行う。さらにH28中国総体で48名にする。
      - ・ルールに沿って、1レース6人で行う。 →承認
    - ② IH、選抜大会のロード競技学校対抗得点方式の変更案について
      - ・1人で総合優勝だと学校対抗として適さないことから。
      - ・H27年度中に検討し、H28年度より適用していく。
      - ・ロード20位まで点を与えることを視野にいれ、今後検討する。
    - ③ H28～30の選抜大会会場地について
      - ・公募に対し、問い合わせがなかった。
      - ・山鹿市は26、27年度のロード開催で一区切りしたいとの申し出あり。
      - ・現在は熊本市内でトラック、ロード両方の開催準備を進めている。
    - ④H27以降の事務局の固定化について
      - ・総務部会で事務局業務を分担する形になる。  
意見
      - ・競技経験ある加盟校校長も部長として選任できるようにしてはどうか。
      - ・総務部会長の所属校の校長が部長をいていただく方が、様々な面で都合よい。
      - ・部長を選任する手順で、当該校で決まらない場合は、競技経験のある加盟校校長を選任する選択肢もあってもよいと思う。
- 追加条項案**
- ・部長の選任規定の4番目に、④自転車競技経験のある加盟校校長を入れる。  
→多数決により可決

⑤ 規約の改正（別紙資料）

議題④の事務局の変更に伴い、規約改正が必要になる。2条、30条、32条を変更。

8章 部会および委員会

3部会について明記されていないので、追加する。

9章 事務局

事務局、事務局員の名称を削除、輪番制の申し合わせ事項の削除

〈連絡〉

- ① 選抜大会では早朝練習を行わない、事前に公式練習の日程を設ける。  
トラック最終日は駐車場が不足し、ご迷惑をおかけするがご了解いただきたい。
- ② IHの参加申込み時に公式記録の提出を求める。都道府県大会とブロック大会の結果を総務部会長に提出する。

（6）競技運営部会提案事項について

（競技運営部会）

議題①H27 大阪インターハイ制限タイムの見直し

→ 承認

- ・1kmTT 1分11秒350 0.35秒アップ
- ・3kmIP 3分45秒600 1.4秒アップ
- ・チームスプリント
  - 250m 51秒330 0.22秒アップ
  - 333m 1分08秒500 0.30秒アップ
  - 400m 1分22秒560 0.36秒アップ
  - 500m 1分43秒760 0.45秒アップ
- ・チームパーシュート
  - 4分44秒510 2.49秒アップ

質問 ブロック大会での電子計時の使用の有無について把握されているか。

回答 把握はしている。実情がそれぞれあるが、周長補正と電子計時装置の使用が必須になってくる。また、今後は、手動タイム、電子計時タイムの補正も検討している。

③ H27 高校選抜大会（H28.3月開催）のケイリン出場枠制限について

- ・出場者数を56名以下に制限する。

→承認

〈報告〉競技運営部会活動報告

- ・H26 山梨インターハイの報告
- ・トラックレース集団走行技量向上のプログラム
- ・ルール説明のアニメーションを大会の出走前に説明と使用。

（7）強化育成部会提案事項について

（強化育成部会）

議題①3月末の女子トラック合宿の実施について 3/28～31で実施。 →承認

- ・選抜大会エントリー選手から30名を選出。JCF強化選手は対象外。
- ・JK Aに10月に相談し、年度途中ではあるが補助していただけることになった。
- ・

② 技量向上および事故防止プログラムの作成の継続について

→承認

## 6 報告事項

- (1) 平成27年度全国高校総合体育大会について
- (ア) 実施要項等について (競技運営部会・大阪府実行委員会)
- ・参加料が500円アップになり、4,000円になった。トラックとロードと口座を分けて設定する。
  - ・宿泊はJTBが担当。
  - ・ロード周回数が20周から18周に変更した。
- (イ) 競技日程について (競技運営部会・大阪府実行委員会)
- ・競技日程は競技運営部会で検討し、決定。  
別紙参照 (大会要項)
- (ウ) 女子公開競技について (理事長)
- ・主催、後援、協賛はなし。JKAから例年通り補助いただき実施する。
  - ・実施種目の変更はなし。選考方法が変更になる。選抜6位までを1次選考とする。
  - ・参加申込み送付先は、実行委員会ではなく、総務部会になる。
  - ・参加料振り込み先も、実行委員会ではなく、全国高体連専門部の口座になる。
  - ・女子ミーティングも昨年通り実施する、全員参加していただきたい。
- (2) 日本自転車競技連盟諸会議の報告について (理事長)
- ①23年度、24年度ブロック合宿のJKA補助金立替金の振り込みが完了した。
  - ②25年度は現在作業中、26年度は27年5月までに提出する。
  - ③第71回岩手国体の女子参加選手2名、実施種目の決定(ケイリン、スクラッチ、チームスプリント)
    - ・時間の捻出については、男子種目の変更で、4km速度競走からスクラッチへ検討。
    - ・73回福井国体ではロードレース実施も検討。
    - ・今後は女子選手の登録者が増えれば、選手枠が3名になることも検討。
    - ・朝練習を止め、開始時間を繰り上げることを検討。
- ③ JCF役員改選のスケジュールと役員選任規定
- (3) 全国高等学校体育連盟諸会議の報告について (理事長)
- ① H32開催インターハイの問題について 東京オリンピックの開催とぶつかることになるが、現在のところは北関東ブロックで開催。  
ちなみに、H29福島、H30静岡で決まっている。  
群馬県 ・H32は開催順番として、群馬県が受ける腹づもりである。宿泊施設の高騰、不足が懸念される。
  - ② 専門部会計の適正処理について  
公益財団法人は収益目的ではないので、繰越金は多く作らない。
- (4) 日韓対抗学生自転車競技大会について (理事長)
- ①日韓対抗は、2015年韓国、2016年日本開催(前橋)で終了する。  
その後は韓国との交流事業を検討していく。
- (5) 平成27年度全国高校総合体育大会について (理事長)
- ①H28中国ブロック開催の全国総体は、トラックは倉吉、ロードは広島の前定。  
開催地間の移動距離が長いため、移動日を設けて開催する意向で、全国高体連も了解している。
- (6) 全日本ステージレースについて (理事長)
- ①今年度実施できなかった。今後も岩手では難しいと判断する。
- (7) 未成年競技者における親権者からのドーピング検査に対する「同意書」の提出について (理事長)
- ①・液検査の実施により、医療行為になり、親権者からのドーピング検査に対する同意書の提出が20歳未満の競技に対して必要になった。親権者からの同意書は1度提出すればよい。

(8) 全国高校総体自転車競技大会総合優勝旗の新調について (理事長)

①別紙参照・・・相当痛みが激しく、修理もしくは新調することにした。

業者見積もりをとった。高額(42万)であったので、JCFに相談した。全額をJCFが負担して、新調することになった。

(9) その他

山梨県

・8月全国高校総体開催のお礼

事務局

・理事長選出について

川上選挙管理委員長

・立候補はなしであった。

・九州ブロックから推薦があり、坂井田氏が推薦された。

役員選任規定により無投票により坂井田氏が理事長に決定。